

事業番号	04 09 20	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業			担当課	部局	健康福祉部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト				課・室	障害者支援課
	施策の総合的展開	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり 2 障害者支援の充実			E-mail	<a href="mailto:shogai-shien@pref.nagano.lg.jp">shogai-shien@pref.nagano.lg.jp</a>
				実施期間	S23	～

## 1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>更生相談から就労支援まで一貫した総合リハビリテーションセンター</li> <li>脊椎・脊髄疾患の高度専門医療センター</li> <li>高次脳機能障害者の自立支援センター</li> <li>身体障害者手帳の発行・交付センター</li> <li>医療と障害者支援施設等が一体化した障害福祉サービスセンター</li> </ul>	
現状	<p>障害のある方々の様々な相談に応じるとともに、医師をはじめ専門スタッフが一致協働して、患者や施設利用者の疼痛・痙性の軽減、身体における麻痺レベルの改善・回復の支援、日常生活動作の高位復帰、設定した目標への到達など、社会生活への早期復帰を目指して支援を行っている。</p>	
県が関与する理由	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体障害者更生相談所は設置義務有(身体障害者福祉法第11条第1項)。</li> <li>障害福祉サービスメニューのうち、自立訓練・機能訓練を提供している事業所は、総合リハビリテーションセンターが県内唯一であり、更生相談業務と連携した質の高い医療・福祉サービスを提供するため。</li> </ul>

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合リハビリテーションセンター使用料収入:12億円以上</li> <li>病床利用率:75%以上</li> <li>入所者利用率:81%以上</li> <li>義肢装具製作・修理件数:460件以上</li> </ul>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)
	肢体に障害のある方等の社会生活への早期復帰を目指した支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者支援施設運営事業</li> <li>補装具製作施設運営事業</li> <li>病院運営事業</li> </ul>	856,405	838,891	750,611
	合計			856,405	838,891	750,611

事業 コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	172,494	23,205			項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		当初予算	703,821	698,101	856,405	750,611			目標	成果	達成状況	
		補正予算	27,737	29,826	1,236		総合リハビリテーションセンター使用料収入	12.5億円	12億円以上	12.2億円	達成	12億円以上
		合計(A)	904,052	751,132	857,641	750,611	病床利用率	74.3%	75%以上	75.5%	達成	75%以上
	Aの 財源	国庫支出金	1,048	1,055	1,086	1,086	入所者利用率	67.4%	81%以上	68.4%	未達成	81%以上
		県債	0	0	107,000		義肢装具製作・修理件数	450件	460件以上	465件	達成	460件以上
		その他(使用料等)	903,004	750,077	749,555	749,525						
		一般財源	0	0	0	0						
	ト	決算額(B)	868,474	727,205	838,891							
概算 人件費	職員数(人)	137.00	142.00	135.00	136.00							
	概算人件費(C)	1,139,429	1,172,636	1,114,830	1,123,088							
	概算事業費(B(A)+C)	2,007,903	1,899,841	1,953,721	1,873,699							

目標に対する成果の状況	<p>使用料収入については、上半期が低調に推移したものの、下半期の順調な伸びにより目標を達成することができた。また、病床利用率、入所者利用率、義肢装具製作・修理件数についても、入所者利用率以外は目標を達成することができ、障害のある方々が早期に社会復帰するためのニーズに応えることができた。</p>
-------------	--

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>県立・県営による一体運営の特色を生かして、複数の部署が有機的に関わりながら障害のある方々に対して多角的な支援を行うほか、総合的な見地から県立施設としての立場で積極的に関与し、モデルとなるような取組を行ってその成果を県下に還元していくために、「障害者自立支援の郷土づくり」を基本目標に掲げるとに次の取組を行っていく。</p> <p>①医療・施設支援安全管理委員会の活動の推進などによるセンター利用者の安全管理と業務改善の徹底          ②高次脳機能障害者の自立支援などによる重点プロジェクトの展開          ③オーダリングシステムの適切な運用などによる経営効率の総合的な推進          ④信州大学・関係機関との連携強化などによる医師・看護師等の人材確保          ⑤スキルアップ研修等への積極的参加などによる専門スタッフのスキルアップと次代を担う人材の育成          ⑥利用者満足度調査の実施などによる県民起点のセンターづくり</p>